

5 第2次渋川市観光基本計画の推進体制

計画の推進にあたっては、基本方針に基づく各施策の主要事業を中心に進めるなかで、官民一体となった取組が重要となります。

市内では、観光協会や旅館組合、交通事業者、観光ボランティアガイド、農業生産者などの各種団体やコミュニティ組織が様々な分野で活躍しており、これらの関係者間で計画を共有し、目標達成に向けて一丸となって取り組み、持続性のある、地域に根付いた計画の推進を行います。

6 各主体の役割

市民・市民団体の役割	観光協会・関係団体などの役割
私たち一人ひとりが、その地域に根付く自然や歴史・文化など、豊かな地域資源の魅力を改めて認識、共有するとともに、その魅力の発信者となります。そして、自信をもって観光客を温かく迎え、交流を深めます。	計画推進における主導的役割を担う組織として、関係団体との連携を図りつつ、おもてなしの心をもった従業員の接客やサービスの向上に取り組み、観光PRの遂行やイベントの開催、市内観光情報の提供などに努めます。
観光事業者・生産者などの役割	行政（市）の役割
それぞれが持つ強みを再認識し、渋川市のオンリーワンの技術とサービスの創出を目指します。 また、周遊性を高めるための交通アクセスの利便性向上や、各種団体と地域とを結びつける主体的な役割を担います。	目的に応じて様々な関係団体と情報共有を行い、各取組主体と協力しながら、本計画の進捗を管理していくとともに、観光情報の収集と分析に努め、広範なPR活動により、渋川市の魅力を広く発信します。 また、関係部署や国・県・周辺市町村との連携を一層強化し観光施策の調整や推進を図るとともに、観光振興条例などのさらなる観光振興に資する施策の検討を進めます。

7 各主体の役割

施策の進捗状況や観光客の動向などを毎年点検するため、渋川市観光戦略会議などにより、施策の進捗状況や観光客の動向を報告するとともに、目標の達成状況等の検証を行い、必要に応じて計画の内容を見直します。

第2次渋川市観光基本計画【概要版】（平成30年3月策定）

渋川市 商工観光部 観光課 電話：0279-22-2111 FAX：0279-22-2132

e-mail：kankou@city.shibukawa.gunma.jp URL：<http://www.city.shibukawa.lg.jp/>

第2次渋川市観光基本計画の概要

渋川市観光基本計画（平成20年度～29年度）の実施を受け、平成29年度に策定した計画の概要は以下のとおりです。

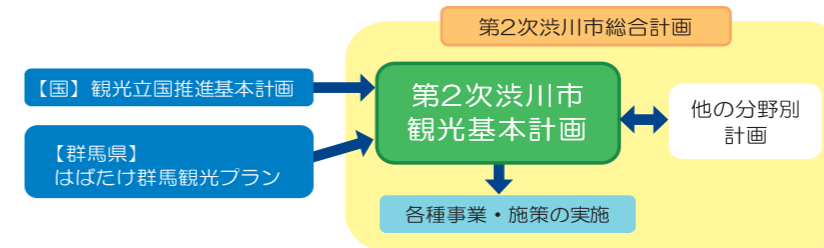
1 計画の目的と期間

【策定の趣旨】

観光資源の有効的活用、体系的な施策の展開を図るために策定された「渋川市観光基本計画」が平成29年度で終了します。引き続き、国等の新たな観光施策や旅行ニーズの多様化に柔軟に対応し、観光のさらなる魅力づくりや観光戦略が求められていることから、本市の観光振興施策の総合的かつ計画的な推進により一層取り組むため、「第2次渋川市観光基本計画」を策定します。

【計画の位置づけ】

本計画は、「第2次渋川市総合計画」を最上位計画とし、観光の観点から、その実現に向けての有効な政策を定めるとともに、他の政策・計画、県や国の指針等との連携・連動を図ります。



【計画の期間】

本計画の計画期間は、国、県等の新たな取組や変化の早い観光動向に的確に対応するため、平成30年度から平成34年度までの5年間とし、観光を取り巻く情勢の変化に応じて見直しを行います。

2 観光振興の意義

【人口減少社会の到来】

政府は、急激に進行する「人口減少問題」の対策のひとつとして、地域にある資源をいかし、他産業への経済波及効果や雇用の誘発効果に優れた観光産業を、「地方創生」の極めて重要な成長分野として位置づけています。

【観光がもたらす経済効果】

本市の宿泊等の需要に対し、656億円の生産誘発額が確認され、観光が対個人サービス業だけではなく、多方面に波及する「裾野の広い産業」となっており、また、本市の宿泊業、飲食サービスの売上高（企業単位）は、市全体の6.7%となっていることから、主要な産業の一翼を担っていることが伺えます。

【地域への誇りと愛着の醸成、地域資源の保全のための手段】

観光は、地域の伝統的な行祭事への参加など地域を知る機会の提供の場でもあり、自らの地域の魅力を再認識し、古く先人達から守り、引き継がれた地域、自然や歴史、文化などの魅力を、観光客に評価や満足をいただくことで、地域への誇りと愛着を醸成してくれるものでもあります。

このことは、住民と観光客の双方に配慮した地域、魅力的な観光地の形成につながり、さらに住み良いまちづくりに寄与します。

3 計画コンセプト

本市の観光にかかる地域の条件を詳細に分析し、将来に向け本市が目指すべきコンセプトは以下のとおりです。

将来像

将来の空間イメージ

首都圏でも高い知名度を有する「伊香保温泉」の、多くの文人墨客にも愛された由緒ある歴史文化や、広大な榛名、赤城山麓そして利根川に生まれた明媚な自然環境や豊富な地域資源、農畜産物などをいかし、渋川市民はもとより首都圏内外の人々にも愛され観光や保養休養客がたびたび訪れる“美しく魅力ある癒しの滞在環境”を創出する。

来訪者の活動イメージ

多くの群馬県民が観光やレクリエーション、宿泊、入浴、飲食等の多様な資源を有する渋川市を訪れ、また、保養休養志向の首都圏住民や国内外の旅行者は、渋川・伊香保の名湯や歴史文化資源、豊かな自然環境を求めてたびたび本市を訪れる。また、渋川市街地にも音楽や野外アート、食や風景を楽しむ多くの人々がまちなか観光で訪れ、市民や観光客が豊かな余暇を楽しみ商業の振興も進む。

計画テーマ

伊香保温泉を核としたしぶかわブランドの創出
～豊かな自然がはぐくむ、歴史と文化あふれる首都圏立地型観光地～

対象

誘致エリア

- ・県内及び首都圏（東京、神奈川、千葉、埼玉、茨城、栃木）
- ・その他、上越・北陸新幹線沿線（新潟、石川、富山、長野）や中部圏、関西圏など
- ・海外（新たな交流機会拡大に対応すべく交通アクセスを確保していく）

ターゲット層

- ・保養休養志向の中高年齢層（夫婦、男性グループ、女性グループ）
- ・都市の自然志向のファミリー層
- ・コンベンション客
- ・訪日及び国内在住の外国人

目標

指標	現在(H28年度)	目標(H34年度)
市内観光客数	480万人	529万人
市内宿泊者数	116万人	155万人
観光周遊ルート設定数	12コース	17コース
伊香保温泉外国人宿泊者数	10,877人	21,900人
観光消費額	19,938百万円	22,815百万円

重点方針

伊香保温泉のさらなる魅力向上

渋川観光の核となる伊香保温泉のさらなる魅力向上は、そのブランド力を市域でいかし、新たな地域ブランドの創出が期待されることから、夜の演出や景観、環境への配慮など観光資源としての魅力向上を目指します。

地域の産業振興、活性化への貢献

豊富な農畜産物、恵まれた自然環境など、本市が誇る様々な地域資源を観光で活用することで、地域の保全や産業の振興を図ります。また、渋川駅を中心に、市民に魅力的で豊かな余暇空間を提供し、まちなか観光による活性化を推進します。

競合観光地との差別化、個性化

大人口を抱える首都圏や日本各地からのアクセス性の良さをいかすとともに、地域特性へのさらなる理解や近隣自治体との連携により、様々な資源を観光にいかすことで、日本を代表する、個性と風格ある観光地づくりを目指します。

時代の潮流をとらえた市場変化への対応

国の政策や観光動態の把握と、観光地への評価などの情報収集を行うとともに、多様な主体との連携によるニーズに即した様々な情報発信を行い、競争力のある“選ばれる観光地”を目指します。

4 施策の体系

本計画の計画コンセプトを具現化するために必要とされる基本方針、基本施策を以下のとおりとします。

